

鎌倉夫人

俊雅な夫人と思ふが鎌倉夫人でいろのは大

妻を 買物に行くにも着がえ、人か来る、た

とえそんが取がうであうても家をはげける

何かあきうたむに緊張する 友人と食事をする

う時は上品にたべる 早くいほいけたい 家

はかえろとのニリ物のうごんをかさこんです

手す そのへりへりのつりたを活が彼世をマ

さえういろようだ まちろんカークはうたい

る 予しせのコマしとヤルモ見てあのみうに

なりたいたいと少し努力をする、
物を置く時は少し

カ、物にする、
言う原はこれが中年以上を話かもしれ

あり

鏡倉夫人は私の友人だ
寧ろは同級生から

七十年近いつきあひだ
若い時は勝手な人だ

と思ひたりしたけれど生活態度を変えたい

一貫してたいしたもやだ
あはするでその

手紙は人に来るからと言つて部屋を片づけ

たり暇を要するらしい
いつか同じ

若い時は仕事からバカになりたが
今は何もしなくていいから
の自分でいえる

先日冷蔵庫が不調でやむを得ず取りかかたが

彼が「どのメーカーか」と言うので私は冷える

わが家かと思つていふので「いいことか」

メーカーはたまたま冷えるので満足していふ

このごろ彼女と話しして「マニヤルと現実

はちがうかよ」と言われ「そうなのときく

ニヒクしていらる彼女と私ちがうから友達で

いふのかもしねない